

## 資産運用レポート：なぜ、その会社で損をしたのか？

### 1 はじめに

株式投資では「優良企業さえ買っておけばOK」という考え方があります。果たして、本当にそうでしょうか

かくいう私も今まで、優良企業への投資を行ってきました。ただどちらかと言えば、損をしたケースが少なくありません。

恥を承知で、具体的な会社名をあげておきますと、次の通りです。

- 任天堂（7974）
- SHOEI（7839）
- セコム（9735）
- ソニー（6758）
- シマノ（7309）
- ワークマン（7564）
- 三菱商事（8058）
- ZOZO（3092）
- ファーストリテイリング（9983）
- キーエンス（6861）

「ええ、超優良企業のキーエンスで損をしたの？」という皆さんの声が聞こえてきそうですが、本当です。

たとえ優良企業を選んでも、株がリスクの高い投資対象であることは変わりなく、投資判断を間違えれば損をします。

今月号の資産運用レポートでは、次の3社を事例として「なぜ、その会社で損をしたのか」を振り返ってみました。

- SHOEI（7839）
- ZOZO（3092）
- ファーストリテイリング（9983）